

安倍と資本家のために血を流すのか！

学生自治会の力で戦争とめよう

戦争と原発に加担する新自由主義大学を変えるのは、団結した学生の力です。大学の主人公は学生です。全学連は京都大・広島大・沖縄大と自治会を再建してきました。全国の仲間が新人生へアピールします。

京都大 腐った社会を革命する時

京都大学学生自治会書記長 作部 羊平

が、獄内外の闘いで年度 寿一総長は何の批判的立 内の奪還をかりとりまし た。 安倍政権は本気で戦争 競争・分断の中で、戦争 に国会デモに参加し未来 を切り開こう！



法政大 大学と教育をとり戻そう

法政大学文化連盟委員長 武田 雄飛丸



法政大闘争は「大学の 問題」をこえ、社会の未 来を決する闘い。学 生への規制強化を押し進 んで戦争に加担する現実 に対し、今こそ学生が声 を上げよう。4・28法大 デモに参加し、大学から 社会を変えよう！

学生の団結した力で戦 争を止め、腐った社会を 革命しよう！ 昨年、京都大では学生 に戦争を止める力がある ことを証明しました。 「戦争のためのグローバ ル人材育成政策」を施行 する本総長を打倒し ました。11月には、自 治会活動を行う人々の学 友が逮捕される弾圧があ りましたが、仲間を奪わ れた怒りを燃やして、 キャンパススバイ活動 をし、天安艦を擁護す るに反対し、安倍政権を 弾圧しました。12月 には、私自身にデッチあ げ逮捕、起訴、長期拘留 の弾圧がかけられました 方こそ、「原子力ムラ」



今年の3・11福島行動。「原発いらない！再稼働反対！」とモ（郡山）

広島大 大学の戦争協力と対決を

広島大学学生自治会委員長 百武 拓



「平和を希求する精 神」を掲げながら8月6 日に学生がデモをやるこ とを弾圧する広島大。安 倍政権の原発・戦争政策 に加担していることが言 いようがありません。 戦争協力、福島切り捨 てを進める今の大学体制 を否定し、学生自治会 の力で大学の権力を安倍政 権や一部の大企業から取 り戻し、安保・戦争国会 反対の巨大なデモをつ くり出そう！



法政大学文化連盟を先頭に不当処分撤回を求めて市ヶ谷一帯をデモ行進（昨年4月）



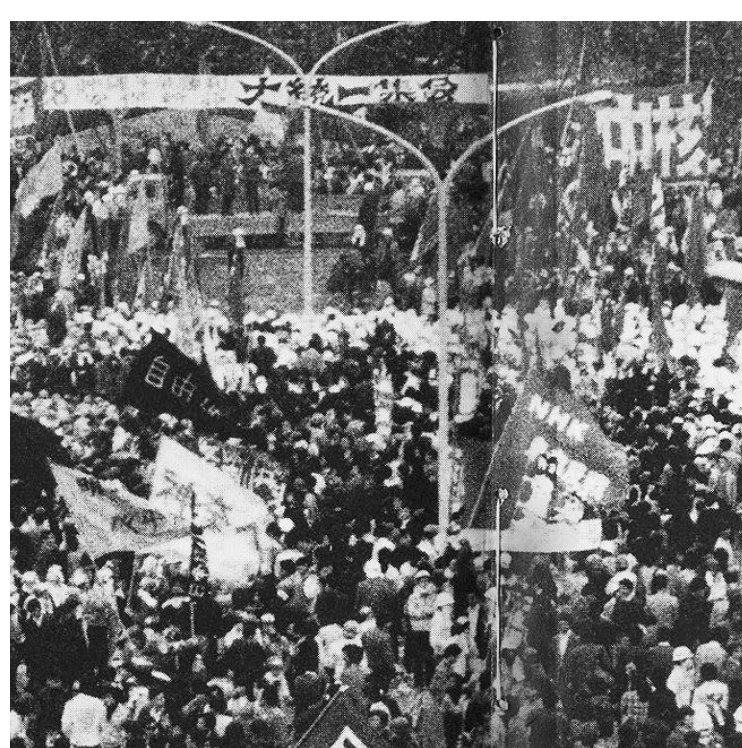
東北大川内キャンパスをデモする学生。学生大会への結集を呼びかけた（昨年11月）

東北大 学生の団結が社会を変える

東北大学学生自治会委員長 澤田 光司



大学自治は、第2次世 界大戦とアジア侵略戦争 の惨禍を経て、「二度と 侵略戦争を許さない」と いふ強烈な思いの中から 生まれました。社会のた めにあるべき大学と学問 が、戦時下では率先して 国家に協力し、多数の犠 牲者を出してしまっ た。 その反省の上に学生たち は、二度と大学を戦争 協力の場にしないう「そ のために自分たちの手 で



70年4・28沖縄デー学生中央集会（東京・明治公園）

沖縄・福島の大弾圧を許すな

沖縄大 団結し新基地建設阻止へ

沖縄大学学生自治会委員長 赤嶺 知晃



「学内では沖大生の決 起に反対し、完全に安倍 の手先となっている。 大学当局の弾圧・分断 をうち破り、巨万の学生 が決起することに戦争と 基地建設を阻止する力が あります。ともに歴史を 変える闘いの先頭に立 とう！」



沖縄大学当局の集会妨害を打ち破り、赤嶺自治会委員長がキャンパス中央で演説を行うと、多くの沖大生が注目し、演説に真剣に聴き入った（昨年5月）

福島大 原発も戦争も止められる

福島大学 樋口 正太郎



もに立ち上がろう！ 福島大の地から訴えます。 2月3日、福島大で反 原発のヒラをまいていた 学生が、「暴行罪」をデッ チあげられ不当逮捕さ れました。私たちはこの 弾圧に強く抗議し、2月 行動には全国から一

富山大 自治会をつくって闘おう

富山大学 藤井 優輔



いま全国の大学では、 安倍政権の進める「大学 改革」により、原発推進 と学生のグローバル人材 化が進んでいます。 大は経営協議会に久和進 入った富山大学。原発 事故は収束できないとい うなか、全国で原発再稼 働が進む中、富山 大学は戦時協力に力な づいてしまっています。



昨年11月の民主労総労働者大会（ソウル）

韓国・民主労総がゼネスト 4・28決起で国際連帯を

南朝鮮・韓国の労働 組合のナショナルセン ターである民主労総（全 国民主労働組合総 連盟、約80万人）は、 パクネ政権の「大資 本優遇・首切り・賃下 げ・非正規職化」攻撃 と対決し、4月24日か らゼネラルストライキ （全社会的な一斉ス ト）に突入する。5月 1日のメーデーには、 首都ソウルに組織の総 力を投入して大規模闘 争に決起する。 全学連が呼びかける 戦争法案反対の4・28 国会デモ（沖縄デー闘 争）は、この韓国労働 者階級の感情的な闘い と二体の国際連帯闘争 として、誇りと団結を とり戻す。政府・資本 の振るまいと愛国主義や 排外主義をのりこえ、 国境・人種・国籍をこ えた団結をつくり出す 中、「1%」の資本 家の利益のための戦争 を止める力がある。日 韓の国際連帯の発展が 「革命の現実性」だ。 学生の未来も、労働者 階級とともに闘い、資 本主義・帝国主義を打 倒する中にある。

2015年度新入生歓迎パンフレット 学生の闘いで戦争とめよう！

4・28・15大結集へ活用を
戦争に突き進む安倍をたおそう！
大学の戦争協力阻止！ 京大の闘いに続く
国際連帯が戦争を止める力だ！
福島・沖縄・三里塚の怒りとともに闘おう



A 4判8ページ・カラー
発行／全学連
TEL 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp

今年3月、学生の 未来を決する「歴史の 分岐点」です。全国の キャンパスから戦争絶 対反対の声を巻き起し、 4・28・15の 国会デモにぞう！

『週刊『前進』を読む』

『前進』定期購読・見本紙の申込用紙

(A) 見本紙を希望します。 (B) 定期購読します。
定期購読料 ①1カ月 1512円 ②3カ月 4536円 ③6カ月 9072円
(郵送料は別)

見本紙、定期購読、購読期間のご希望のところを○で囲んでください。

お名前 (男・女) 歳
住所
大学名 大学 学部 学年
電話番号
E-mail
①見本紙ご希望の方は、上記項目に記入の上、この枠内を切り取って 封書で前進社あてに送ってください。最新号を無料でお送りします。
②定期購読をご希望の方は、現金書留で購読料を送ってください。
■送り先 東京都江戸川区松江1-12-7 前進社